CVEセキュリティ情報

CVE No.	CVE-2022-1012
参照脆弱性データベース	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1012
公開日	2023 年 3 月 2 日
内容説明	net/ipv4/tcp.c のTCPソースポート生成アルゴリズムには、小さいテーブルの影響範囲によるメモリリークが発生する問題が見つかりました。この欠陥により、攻撃者は情報を漏洩させることがあり、またDoS問題を引き起こす可能性があります。
対象ベンダー	Microchip Frequency and Time Systems
対象製品	SyncServer S600/S650
対象製品の影響度	影響度は「低」です。 SyncServer Web GUI の暗号化されたTLSにより、この脆弱性による情報漏えいのリスクが軽減化されます。 DoS攻撃に対しては、マネージメントポートへの外部アクセスを制御するか、使用していない時はWeb GUI機能を無効にすることで防止できます。

推奨される対応方法

SyncServer® タイム サーバーは、ファイアウォールの保護下で運用されるように設計されています。
また、管理インターフェースは権限のないユーザーのアクセスから保護されています。
NTPに関連する脆弱性の多くは、スプーフィング攻撃によるものがほとんどです。
GPSなどの内部参照備えたStratum 1で動作するサーバーの場合、スプーフィング関連のNTP脆弱性は該当しません。
クライアントや対向機器で推奨される構成／設定は、IETF BCP38 (イングレス フィルタリング) に準拠することです。これによりほとんどのスプーフィング攻撃を防ぐことが可能となります。

お問い合わせ

弊社 SyncServer の年間保守契約にご加入頂いた場合は、最新バージョンのファームウェアをご提供させて頂きます。
また、バージョンアップの手順についてご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。
この書面に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

会社	株式会社フォーサイトテクノ
部署	事業本部　サービス3部 ICT機器課
担当窓口	SyncServer 技術担当
電話番号	03-5665-9290
メールアドレス	symm-support@foresight-t.co.jp

ポータルサイトからもお問い合わせいただけます　» https://foresight-t/ict/portalsite/

発行日　：2026/08/10
様式文書：MIC0022-BF

FORESIGHT TECHNO CO.,LTD.
株式会社 フォーサイトテクノ